

平成30(2018)年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業 地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名

鳥栖市

(都道府県:佐賀県)

1. 当該地域の情報 (2019年1月現在)

地域の課題	平成29年3月で日本語教室が閉鎖され、日本語が話せない外国人に対して、日本語指導を行うところが無くなってしまい、外国人が生活するうえで困難な状況に陥る可能性がある。日本語が分からないと、ゴミの出し方や交通ルール等の意見のすれ違い、生活習慣の違いなどからトラブルが発生することが想定され、地域住民とコミュニケーションが取れないことから、地域住民との共生が困難となる。また、就職や子供の就学の上でも支障をきたす恐れがあり、引きこもりや生活困窮者になる可能性がある。
在住外国人数 外国人比率	1,167人(1.6%) 人口73,636人
在留外国人の 状況	【主な国籍】①ベトナム350人、②ネパール286人、③フィリピン133人、④中国130人、⑤韓国・朝鮮95人、⑥スリランカ86人 ※20人未満の国は省略 【在留資格】①留学461人、②技能実習257人、③永住者157人、④技術・人文知識・国際業務67人、⑤特別永住者59人、⑥家族滞在53人、⑦日本人の配偶者等36人 ※20人未満の在留資格は省略 【滞在年数・在留期間などの状況】 留学生と技能実習生が多い。留学生は、日本語学校に通った後、一部は2年前に市内に開校した専門学校に進学しているが、ほとんどは市外に転出している。専門学校の卒業生は、平成31年度から市内に就職する外国人もいる。今までは短期滞在者が多かったが、平成31年4月以降は中長期滞在の外国人が増加する可能性がある。
在住外国人の 日本語教育の現状	市内唯一のボランティアによる日本語教室「モナミクラブ」が約15年ほど活動してきたが、ボランティアの高齢化を主な理由として平成29年3月をもって閉鎖された。現在外国人が急増している状況だが、その後の活動を受け継ぐ団体もない状況であるため、日本語教育の場を新たに創出する必要があった。

2. 事業の内容

本プログラム取組年数	3年目			
事業の目的	生活者としての外国人住民が、日本で生活するうえで必要な日本語や生活のルール、風習などを学ぶ場として、日本語教室を年間20回開催する。 また、増加していく外国人と市民による多文化共生の地域づくりを目指すとともに、市民協働での安定した教室運営をめざす。			
事業の概要	◎日本語教室 ・日本語教室を年20回開催し、外国人のニーズ調査や点検を行い、来年度の事業につなげた。 ◎にほんごパートナーフォローアップ研修 ・にほんごパートナーに対して、コーディネーターと一緒に教案を作成する研修を行い、スキルアップを目指した。 ◎やさしい日本語研修 ・市職員にやさしい日本語研修を行うことで、外国人に対し、分かりやすい情報発信ができるようにする。 ◎平成31年度事業計画案 ・カリキュラム案を作成する。 ◎フェイスブックの活用 ・日本語教室やイベントの案内、台風情報などについて情報発信を行った。			
事業の対象期間	2018年4月～2019年3月			
前年度の実績 (2年目以降の団体のみ記載)	◎にほんごパートナー募集及び養成→オリエンテーション及び養成講座を開催した。 ・にほんごパートナーを募集し、研修を行った結果、21人の方の協力を得て活動を進めることができた。 ◎日本語教室試行→日曜日教室、火曜日教室をそれぞれ4回ずつ開催し、検証した。 ・日本語教室試行を行い、教室の運営方法などについて検証することができた。 (日曜日の参加はある程度見込めるが、平日の夜は参加者が少なかった。⇒平成30年度は日曜日の午前中に開催) ・日本語教室だけではなく、市のイベント「こくさいカフェ」とコラボすることで、活動に広がりがでた。 (日本語教室の学習者とボランティアだけではなく、他の外国人や市民との交流ができた。また、とりんすの活動を紹介することができた。) ◎フェイスブックの活用→フェイスブックを立ち上げ、日本語教室について情報発信を行った。			
担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	貞松 明子	佐賀県日本語支援「カスネット」		コーディネーター業務の総括
	下川 有美	鳥栖市	男女参画国際交流係長	連絡調整、事業企画立案、広報
	牧崎 由美子	とすにほんごひろば～とりんす～		教室活動企画・準備等
	中野 佐智代	とすにほんごひろば～とりんす～		教室活動企画・準備等
	中村 静佳	とすにほんごひろば～とりんす～		教室活動企画・準備等
	成富 和代	とすにほんごひろば～とりんす～		教室活動企画・準備等
	松隈 千重子	とすにほんごひろば～とりんす～		教室活動企画・準備等
	山下 弘子	とすにほんごひろば～とりんす～		教室活動企画・準備等
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	尾崎 明人	名古屋外国語大学	教授	継続・新規(3年目)
	土井 佳彦	NPO法人多文化共生リソースセンター東海	代表理事	継続・新規(3年目)
	中東 靖恵	岡山大学	准教授	継続・新規(3年目)

3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

(1)地域における日本語教育の実施に向けた検討体制

検討体制	○担当課である市民協働推進課で、地域の現状把握や日本語教育についての検討を行い、関係各課に協力を促す。 ○鳥栖市語学ボランティアに協力を依頼し、市の窓口業務内容のやさしい日本語化、多言語化に取り組む。 ○外国人住民や関係団体への周知広報などについては、関係部局の協力を得ながら進める。 主な連携予定部局は以下のとおりである。 ・環境対策課(ごみ・リサイクル関係) ・市民課(外国人登録・マイナンバー関係) ・学校教育課(就学・外国人の保護者関係)		
	所属(担当課)	担当者名	職名
	市民協働推進課	下川 有美	課長補佐兼男女参画国際交流係長
	環境対策課	佐々木 利博	課長
	市民課	野中 潤二	整備係長
	学校教育課	立石 光顕	学校教育係長
	鳥栖市語学ボランティア	—	—
	佐賀県国際課	北御門 織絵	佐賀県多文化社会コーディネーター
	佐賀県国際交流協会	矢富 明徳	企画交流課長

(2)日本語教室の実施に向けた事業運営体制図

地域の機関・団体との連携体制	現在、鳥栖市内にあった日本語教室「モナミクラブ」は閉鎖されたが、長年、日本語教育に関わっておられた経験を基にアドバイスをもらうなど、協力を依頼する。（現在も個人的に日本語教育に関わっておられる。） また、次の団体に協力を仰ぐ。 カスタネット：県内でも日本語教室の立ち上げに関わっておられるノウハウを教えてください。 佐賀県国際課：県内の状況や県が行う事業等について情報共有を行う。（アドバイザー会議に出席依頼） 佐賀県国際交流協会：県内の状況や協会が行う事業等について情報共有を行う。（アドバイザー会議に出席依頼） とす市民活動センター：会議室の利用や情報発信。外国人からの相談を受けた際の市との連携。			
	組織・団体・機関名	担当部局	職名	担当者名
	元モナミクラブ			橋本 彰子
	佐賀県日本語支援「カスタネット」			貞松 明子
	佐賀県	国際課		北御門 織絵
	佐賀県国際交流協会			矢富 明徳
	とす市民活動センター			池上 明子
	まちづくりスポット鳥栖			鈴木 登美子

4. 具体的な取組内容

(1)年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
2018年 4月	・コーディネーター会議	・コーディネーター会議	
2018年 5月	・コーディネーター会議 ・にほんごパートナーフォローアップ研修(2回) ・アドバイザー会議	・コーディネーター会議 ・にほんごパートナーフォローアップ研修 ・アドバイザー会議	土井佳彦氏 中東靖恵氏 (年度計画・運営体制検討)
2018年 6月	・とすにほんごひろば～とりんす～① ・とすにほんごひろば～とりんす～② ・市長と語る「ふれあいトークング」 ・コーディネーター会議	・教案作成、資料作成 ・とりんす運営 ・市長と語る「ふれあいトークング」 ・コーディネーター会議	
2018年 7月	・とすにほんごひろば～とりんす～③ ・アドバイザー会議 ・とすにほんごひろば～とりんす～④	・教案作成、資料作成 ・とりんす運営 ・アドバイザー会議	土井佳彦氏 中東靖恵氏 (事業計画等)
2018年 8月	・とすにほんごひろば～とりんす～⑤ ・とすにほんごひろば～とりんす～⑥ ・アドバイザー会議 ・やさしい日本語研修(市職員対象)	・教案作成、資料作成 ・とりんす運営 ・アドバイザー会議 ・やさしい日本語研修(市職員対象)	中東靖恵氏 (教室運営振り返り、平成31年度事業方針検討等)
2018年 9月	・とすにほんごひろば～とりんす～⑦ ・とすにほんごひろば～とりんす～⑧	・教案作成、資料作成 ・とりんす運営	
2018年 10月	・とすにほんごひろば～とりんす～⑨ ・とすにほんごひろば～とりんす～⑩ ・アドバイザー会議 ・スピーチコンテスト	・教案作成、資料作成 ・とりんす運営 ・アドバイザー会議 ・スピーチコンテスト出場者指導	土井佳彦氏 中東靖恵氏 (教室運営振り返り、平成31年度事業方針検討等)
2018年 11月	・とすにほんごひろば～とりんす～⑪ ・とすにほんごひろば～とりんす～⑫ ・とすにほんごひろば～とりんす～⑬	・教案作成、資料作成 ・とりんす運営	
2018年 12月	・とすにほんごひろば～とりんす～⑭ ・とすにほんごひろば～とりんす～⑮	・教案作成、資料作成 ・とりんす運営	
2019年 1月	・とすにほんごひろば～とりんす～⑯ ・とすにほんごひろば～とりんす～⑰ ・初級日本語集中講座受講者との交流会	・教案作成、資料作成 ・とりんす運営 ・新規学習者との交流	
2019年 2月	・とすにほんごひろば～とりんす～⑱ ・とすにほんごひろば～とりんす～⑲	・教案作成、資料作成 ・とりんす運営	
2019年 3月	・とすにほんごひろば～とりんす～⑳ ・アドバイザー会議	・教案作成、資料作成 ・とりんす運営 ・アドバイザー会議	土井佳彦氏 中東靖恵氏 (教室運営振り返り、平成31年度事業方針検討、3年間の講評等)

(2)立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称		とすにほんごひろば〜とりんす〜					
外国人参加者について		[国籍]中国20人、ベトナム18人、フィリピン17人、カンボジア10人、ネパール3人、インドネシア2人、タイ2人、メキシコ1人、ジャマイカ1人 [属性]技能実習生や研修生、日本人の配偶者等が主な対象			参加者数 (内 外国人数)		受講者 74 名 支援者 27 名 (日本語指導者6名、サポーター21名)
開催時間数		総時間 30 時間			内訳 1.5 時間 × 20 回		
目標		生活者としての外国人住民に対して、日本語や日本の文化、ルール、風習などを学ぶ場を提供する。					
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2018年6月3日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動センター	15	自己紹介、防災	・自己紹介 ・消防署見学に向けた学習 ・消防署と警察署の仕事内容	日本語指導者3名 補助者2人 にほんごパートナー7名
2	2018年6月17日(日) 10:30~12:00	1.5	鳥栖消防署	20	消防署見学	・指令室の見学 ・通報訓練(多言語コールセンター利用) ・消防車両見学 ・はしご車乗車、消火器訓練	日本語指導者2名 補助者2人 にほんごパートナー7名
3	2018年7月1日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動センター	5	祭、花火	・鳥栖祇園山笠について学ぶ ・母国の祭りについて学ぶ ・花火大会への行き方 ・七夕(短冊飾りつけ)	日本語指導者2名 補助者3人 にほんごパートナー9名
4	2018年7月22日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動センター	5	祭、買い物、熱中症	・まつり鳥栖総踊りの練習 ・熱中症 ・屋台の種類 ・イベントの案内	日本語指導者2名 補助者3人 にほんごパートナー7名 舞踊の先生2人
5	2018年8月5日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動センター	3	地震	・地震について学ぶ ・地震が起きたらどうする ・緊急地震速報	日本語指導者2名 補助者1人 にほんごパートナー6名
6	2018年8月19日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動センター	5	台風	・台風について学ぶ ・台風に備える ・避難(ハザードマップ使用) ・台風クイズ	日本語指導者2名 補助者1人 にほんごパートナー7名
7	2018年9月2日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動センター	14	薬	・熱がある時にどうするか ・薬をどこで買うか ・薬の種類と形状による名称と使用方法 ・ドラッグストアで調べる	日本語指導者2名 補助者2人 にほんごパートナー7名
8	2018年9月9日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動センター	10	病院	・病院を受診する際の流れ ・問診票の書き方 ・ロールプレイング(受診の流れ)	日本語指導者2名 補助者4人 にほんごパートナー5名
9	2018年10月14日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動センター	8	自転車のルール	・鳥栖警察署交通講話 ・自国と日本の交通ルールの違い	日本語指導者2名 補助者3人 にほんごパートナー5名
10	2018年10月28日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動センター	3	敬語	・「台風」振り返り ・敬語の聞き取り ・病院で使われる敬語プリント ・敬語ゲーム	日本語指導者3名 にほんごパートナー5名
11	2018年11月11日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動センター	3	インフルエンザ	・インフルエンザの予防 ・インフルエンザ基礎知識、咳エチケット ・今日は何の日 ・インフルエンザ知識クイズ	日本語指導者2名 補助者2人 サポーター7名
12	2018年11月18日(日) 10:30~12:00	1.5	こが医療館	14	病院体験	・受付の仕方を説明 ・問診票の記入 ・診察体験(自分の病状を伝える) ・薬の種類・用途を学ぶ	日本語指導者2名 補助者2人 サポーター2名
13	2018年11月25日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動センター	6	方言	・グラウンドゴルフの練習(同日午後に大会参加) ・グラウンドゴルフで使用する方言プリント ・方言ゲーム	日本語指導者2名 補助者1人 サポーター5名
14	2018年12月2日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動センター	3	年賀状、お正月	・日本のクリスマス、お正月の説明、クイズ ・自分の国のお正月 ・年賀状作成 ・年末年始の挨拶の練習	日本語指導者2名 補助者1人 サポーター2名

15	2018年12月9日(日) 10:30~12:00	1.5	基里まちづくり 推進センター	11	もちつき	・地域で開催されたもちつきに参加し、日本文化を学ぶ ・地域の人と日本語を使って交流	補助者3名 サポーター2名
16	2019年1月13日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動 センター	14	買い物(食べ物)	・消費期限、賞味期限の説明、プリント ・保存方法 ・かるた	日本語指導者2人 補助者3人 にほんごパートナー11人
17	2019年1月27日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動 センター	14	買い物(衣類、その他)	・消費税(税込、税抜、税別、+税) ・店の名前を覚える ・買い物に必要な会話練習 ・スタンプラリー(実際に店を回る)	日本語指導者2人 補助者2人 にほんごパートナー9人
18	2019年2月3日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動 センター	7	公共マナー	・鳥栖市の出前講座(ごみ出しのマナー、リサイクル) ・公共のマナー ・節分(日本の文化を学ぶ)	日本語指導者2人 補助者1人 にほんごパートナー10人 市職員3人
19	2019年2月24日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動 センター	13	こくさいカフェ	・市主催の「こくさいカフェ」に参加し、日本人や外国人と日本語で交流 ・かるた、茶道体験 ・警察署による交通講話	補助者5人 にほんごパートナー11人
20	2019年3月10日(日) 10:30~12:00	1.5	とす市民活動 センター	25	習字体験	・書道家による書道体験 ・グループに分かれて交流(意見交換)	日本語指導者6人 補助者2人 にほんごパートナー12人

【主な活動】



2018年6月17日(日)「消防署見学」
消火器の使い方



2018年11月18日(日)「病院」
ロールプレイング(受診の流れ)



2019年3月10日(日)「習字体験」

(3)その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
やさしい日本語研修	2018年8月21日(火) 10:00~12:00(2時間)	外国人住民が増加している現状を踏まえ、外国人も暮らしやすい環境づくりを進めるためには、市の職員も多文化共生の視点を持ち、それぞれの業務に取組んで行く必要がある。その一環として、外国人住民に対して日常生活に必要な情報を提供するために必要な「やさしい日本語」の研修を実施した。(市職員34人) 講師:中東靖恵アドバイザー ※コーディネーター7人、にほんごパートナー1人、外国人留学生2人 ※鳥栖・三養基消防本部3人、鳥栖警察署2人
こくさいカフェ	2018年10月21日(日) 14:00~16:00(2時間)	日本語教室の取組を地域住民に周知するため、鳥栖市が開催した「こくさいカフェ」にパネルを展示し、理解促進を図った。(参加者355人)
市民フェスタ	2018年11月17日(土) 10:00~16:00(6時間)	日本語教室の取組を地域住民に周知するため、鳥栖市が開催した「市民フェスタ」にパネルを展示し、理解促進を図った。(参加者600人)
こくさいカフェ	2019年2月24日(日) 13:30~16:00(2.5時間)	日本語教室の取組を地域住民に周知するため、鳥栖市が開催した「こくさいカフェ」にパネルを展示し、理解促進を図った。(参加者123人)

【主な活動】



2018年8月21日(火)
「やさしい日本語研修」



2018年11月17日(土)
「市民フェスタ」



2019年2月24日(日)
「こくさいカフェ」

5. 今年度事業全体について

進捗状況	・年間を通して、とすにほんごひろば〜とりんす〜の活動を実施することができた。 ・生活者としての外国人住民に対して、日本語や日本の文化、ルール、風習などを学ぶ場を提供することができた。
成果	・とすにほんごひろば〜とりんす〜を20回開催した。 ・市職員を対象とした「やさしい日本語研修」を実施した。 ・様々な機会に、とすにほんごひろば〜とりんす〜の活動を記したパネルを掲示し、理解促進を図った。
地域の関係者との連携による効果	教室以外の人と関わることで、多様な人との会話や交流を体験することができた。 ・警察署や消防署、病院に協力をしてもらうことで、多様な取組が実施できた。 ・市の出前講座を活用することで、専門的な内容を知ることができた。 ・舞踊家や書道家に協力してもらい、日本文化に触れることができた。
コーディネーターの主な活動	①ニーズの調査(0H) ②体制整備のための調整(0H) ③人材育成のための調整(46H) ④日本語教室開設及び運営のための調整(305H) ⑤教材作成に向けた調整(62H) ⑥その他(0H) (具体的な内容：)
アドバイザーの主な助言	・今後の教室のあり方について ・教室の内容や時間配分について ・レベルが違う学習者の対応について ・人材育成について
今後の課題	(1)教室の安定的な運営 ・現在は、アドバイザー、コーディネーター、にほんごパートナー、行政が一体となって運営にあたっている。引き続き、情報共有を行いながら運営に当たるとともに、日本語教育事業に関わる人材育成及び人材確保を行っていく必要がある。 (2)学習者増加による対応 ・日本語教室が認知されるようになり、学習者が増加してきた。今後も増加していくと想定され、教室が手狭になる可能性がある。その際の対応について検討する必要がある。
今後の予定	外国人住民のセーフティネットとして、外国人住民が日本で生活するうえで必要な日本語や生活のルール、文化、風習などについて学ぶ場として日本語教育事業を実施する。 (1)日本語教室 ・とすにほんごひろば〜とりんす〜を月2回(年間24回)開催する。 (2)ボランティア養成講座 ・日本語教育に必要な知識や心構え、「やさしい日本語」について学ぶ講座を開催し、とりんすの活動をサポートするボランティア「にほんごパートナー」を育成する。※フォローアップ研修も兼ねて開催(年2回) (3)運営会議 ・アドバイザーとコーディネーター、行政で日本語教室運営に関する課題などについて協議する。(年3回)

本件担当 : 鳥栖役所 市民協働推進課 男女参画国際交流係